

としょかんだより



市立竹原書院図書館
竹原市中央4丁目7番11号
TEL 22-0778
FAX 22-1072

http://takeharashoin.jp/ 携帯用: http://takeharashoin.jp/mobile/

ようこそ！ みんなの図書館

読書って？

夏休みのある日、午前十時の開館と同時に児童閲覧室にやってきた、二・三歳くらいの子に大型絵本を読み語っていると、いつの間にか周りに五・六人の子どもたちの環ができて、それぞれ読んでほしい絵本を次々と手渡してくる。子どもたちは本を読んでもらうのが大好きです。もともと人間のことばの発達は耳から入って獲得していくものですから、読んでもらって、気持ちよく聞けるのはあたりまえのことなのです。その日も読んだ絵本はその場で借り手がみつかって、それぞれ椅子に座って静かな読書タイムになりました。人は何故本を読むのでしょうか？ 知恵が身につく・役に立つなどいろいろの答えがあるでしょうが、本を読みたいと思う一番の理由は「楽しいから」に決まっています。これは子どもにとつても同じことです。

本を読むということは、知らない国や想像の世界をさまよい、まるで主人公になりきって、日常世界を飛び出して空想世界に遊ぶことなのです。「ああおもしろかった」と感じればそれで十分。感想文が書けなくても、なにがおもしろかったのかがうまく言えなくても、子どもの心に確実に何かが芽生えて、子どものやわらかな感性はやがて大きく育っていくことでしょう。まわりの大人ができることはそんな「本」のある環境を、子どもたちにつくってあげること、応援してあげることです。図書館ではこれからも、心から「おもしろかった」といつてもらえる本を準備してお待ちしています。この夏にひとりでも多くの子どもたちに「こころに残る一冊」の本に出会ってほしいと願っていました。子どもたち！みんないい夏休みだったでしょうか。

自動車文庫わかたけ2号 巡回日程

- | | | | |
|-------------------|-------------|-------------------|-------------|
| ▼第1コース 9/7 10/5 | 第1木曜日 | ▼第5コース 9/21 10/19 | 第3木曜日 |
| 忠海公民館 | 10:30~11:30 | 三原農協野支店 | 11:00~11:30 |
| 大乗小学校 | 12:50~13:45 | 庄野小学校 | 13:00~14:00 |
| 長浜会館 | 14:00~14:30 | 東野保育所 | 14:15~15:10 |
| 福田区民館 | 14:45~15:15 | 東野小学校 | 15:20~16:15 |
| 大乗保育園 | 15:30~16:15 | ▼第6コース 9/15 10/20 | 第3金曜日 |
| ▼第2コース 9/1 10/6 | 第1金曜日 | 竹原西保育所 | 10:30~11:00 |
| 竹原保育所 | 10:30~10:50 | 忠海団地竹原生協 | 13:30~14:20 |
| 喜多崎集会所 | 11:10~11:40 | 忠海東部保育園 | 14:40~15:20 |
| 高崎城会館 | 13:30~14:00 | 忠海東小学校 | 15:30~16:20 |
| 忠海西小学校 | 14:30~15:20 | ▼第7コース 9/28 10/26 | 第4木曜日 |
| 雇用促進大乗宿舎 | 15:45~16:20 | 仁賀小学校 | 10:30~11:30 |
| ▼第3コース 9/14 10/12 | 第2木曜日 | 田万里公民館 | 13:00~13:50 |
| 吉名公民館 | 10:30~11:20 | 老人保健施設ゆさか | 14:15~15:00 |
| 竹原西小学校 | 12:50~13:50 | 賀茂川保育所 | 15:15~16:15 |
| 大井公民館 | 14:20~14:50 | ▼第8コース 9/22 10/27 | 第4金曜日 |
| 宿根生活改善センター | 15:20~15:50 | 吉名保育所 | 10:30~11:00 |
| ▼第4コース 9/8 10/13 | 第2金曜日 | 吉名小学校 | 12:50~13:50 |
| 小梨会館 | 10:30~11:00 | 吉名沖辺集会所 | 14:00~14:30 |
| 竹原小学校 | 13:00~14:00 | 竹原病院 | 15:00~15:30 |
| 安田病院 | 14:20~14:50 | | |
| 中通小学校 | 15:10~16:15 | | |

図書館掲示板

9月の行事予定

えほんのかい

9月9日(土) 10:30~
図書館視聴覚室

読書会

9月27日(水) 13:30~
市民館2F会議室
今回の課題図書は
『時のほとりで』(澤地久枝)です。

キャリアスタートウィーク



8月20日~24日、竹原中・賀茂川中の生徒3人が図書館で実習をしました。がんばったかな…?

本との出会いのきっかけに

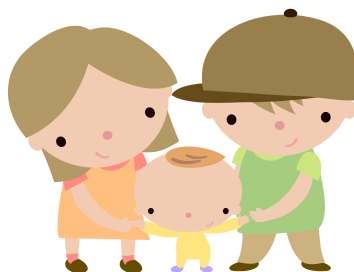
★2階フロア ★☆☆

『お月様とうさぎ うさぎのはなしいろいろ』



★3階フロア ★☆☆

『家族っていいな』



★3階エレベーター前…作家特集

今月の作家は「スティーブン・キング」です。

★3階図書館入り口 ★☆☆

特別企画展 『林 明子』

ベスト5

貸出予約

東京タワー(リリー・フランキー)
Stand UP!!(金子 ありさ)
赤い指(東野 圭吾)
ブラッドタイプ(松岡 圭祐)
アイデア貯金箱(田中 周子)

東京タワー(リリー・フランキー)
陰日向に咲く(劇団ひとり)
ダ・ヴィンチ・コード(D・ブラウン)
赤い指(東野 圭吾)
明日の記憶(荻原 浩)

アンパンマンとびいだまん(やなせ たかし)
かいけつゾロリのおばけ大きくせん(原 ゆたか)
ぐりとぐら(中川 李枝子)
ぐるんぱのようちえん(西内 みなみ)
だいすき! はたらくきしゃ(F. スタージェス)

ハリーポッターと謎のプリンス(J.K.ローリング)
かいけつゾロリのなぞのおたから大きくせん(原 ゆたか)
影との戦い(ル＝グウィン)
子ぎつねヘレンがのこしたもの(竹田津 実)
デモナータ2(Darren Shan)



新刊コーナー



こどものほん

ぐうぐうぐっすり
うんどうかいがはじまった
白いソニア
ぼくとバブーン
ちかくにいるのだあれ
でもすきだよ、おばあちゃん
だあれだ
うちのおじいちゃん
父の仕事を継ぐ自分の味をつくる
魚の大常識
うんちレストラン
わらの家
大きな友だちゴリラ
恋時雨
おみやげはきょうりゅう
王子さまとドラゴンたいじ!!
そして、だれも…
ロアルド・ダールコレクション 1 2
Gold Rush!

A・アールダ
寺村 輝夫
淵上 サトリーノ
B・ウェステラ
中村 牧江
S・ローソン
まつおか たつひで
谷口 国博
陳 建一
林 公義
新開 孝
大岩 剛一
こやま 峰子
蘇部 健一
つちだ よしはる
藤 真知子
星 新一
R・ダール
S・フライシュマン

アスラン書房
あかね書房
自由国民社
ソニー・マガジズ
ひさかたチャイルド
講談社
ポプラ社
世界文化社
岩波書店
ポプラ社
ポプラ社
インデックス・コミュニケーションズ
佼成出版社
講談社
あかね書房
ポプラ社
理論社
評論社
ポプラ社



おとなのほん



世界未解決事件
チンギス・ハン
旅の記録楽しい残し方
吉田観覧車
フェアブル昆虫記の旅
世界がもし100人の村だったら 4
戦争のほんとうの恐さを知る財界人の直言
生活便利用品
子どもを伸ばす家族力
日本の宿
食材力で元気になる旬ごはん
切りっぱなしのかわいい服
〈私のフライパン〉料理
サザエさんの〈昭和〉
満月の花
ロボットへの入口
絵本があつてよかったな
東京ダモイ
三年坂 火の夢
六甲随筆
シャーロック・ホームズベイカー街の幽霊

J・マン
ひぐち あきら
吉田 戦車
奥本 大三郎
池田 香代子
品川 正治
健康生活考房ざ・りっぱ
斎藤 孝
宮本 常一
林 輝明
渡部 サト
有元 葉子
鶴見 俊輔
石川 賢治
滝口 明治
内田 麟太郎
鏑木 蓮
早瀬 乱
陳 舜臣
J・L. ブリーン

新人物往来社
東京書籍
毎日新聞社
講談社
新潮社
マガジンハウス
新日本出版社
創元社
マガジンハウス
八坂書房
河出書房新社
河出書房新社
文化出版局
柏書房
小学館
星の環会
架空社
講談社
講談社
朝日新聞社
原書房

他にも新刊がたくさん入っています。どうぞご利用ください。

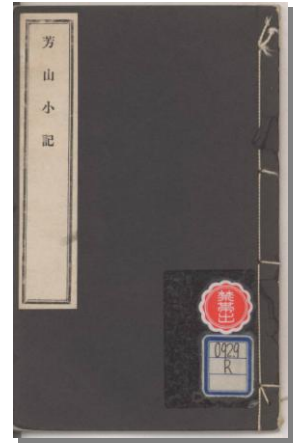
「芳山小記」 頼 春風著 大正13年 1冊

大正13年10月23日、春風の百年祭の記念に曾孫頼俊直が、春風館所蔵本（安永7年）を印刷したもの。

内容は、芳山小記と附録芳山雑詩とで1冊になっている。安永7年3月、大阪にいた春水の誘いで、竹原から父亨翁(惟清)を奉じて一行8人で大坂から吉野山の桜を見ながら大和地方を旅した詩集。

国書総目録(岩波書店発行)では、春風の著作として、庚申漫采・西漫溟瓊奇・春風館詩鈔(享和3年)・東遊詩巻・芳山小記・引翼編(安永5年)が記載されており、その他の詩文稿類は春風館に残されている。

町並みにある県史跡「頼惟清旧宅」で、頼惟清の次男として生まれた春風(通称 松三郎、字千齡、諱惟彊)は、春水と同じく大阪で医術を学び、他藩より召抱えたいと言う話を断り、竹原で医者を開業した。春風は、安永末年には、塩田経営に進出し、天明初年には春風館を建設し(現在の春風館は、安永2年〔1859〕の建築)、竹原頼家繁栄の基礎を築いた。(竹原市史第1巻)



職員からのおすすめの本

『ぼくのフェラーリ』 坂元 純著 講談社 2006.7

この小説は1996年の講談社児童文学新人賞受賞作である。この夏文庫本として出版され、しかも大人向けに分類されている。しかし一読するとこれは大人も子どもも楽しめる童話であるといえる。物語は「平成0年7月28日。けさ、ぼくの家一台のフェラーリがやってきた。色はもちろんイタリアンレッド、1950年型式の166MMだ」ではじまって、車の事細かな紹介がある。カーマニアならずとも、「うーん」とおもわずうなってしまうようなほど丁寧に高級車についての説明が続く。12歳のカーマニアの「ぼく」が、なぜ時価数千万円もするフェラーリを手にするようになったのかという顛末を、一気に読み進むことができる痛快なお話である。そして、祖母と孫の心温まる物語でもある。ちなみに小児外科医でもある著者の「よるのおさんぽ」という絵本も図書館にある。



図書館の広域利用はじまる！！



平成18年9月1日から広島広域都市県内にお住まいの方はどなたでも圏域内の公共図書館のご利用ができます。

★本をかりる：各図書館に住所の確認できるものを持参の上、登録手続きを行ってください。

★本をかえす：各図書館の規則に従って、借りた市・町の図書館にお返しください。

※詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。図書館にお問い合わせください。

<http://www.ri-bura.com/> (図書館広域利用について <http://www.ri-bura.com/library/>)